

# 小中一貫教育推進委員会だより

第1号  
令和元年6月17日

5月14日(火)、中学校において第1回の役員会が開かれ、教育長、5名のオブザーバーも出席の中、今年度の各部会の事業内容と大まかなスケジュールが決定しました。

- 【経営部会】** 部長：濱田 和光(中) 副部長：桜井 紀夫(小)
- 事業内容
- ・役員会開催(随時)
  - ・学校経営方針の相互理解と9年間の見通しを確保、小中保護者への説明
  - ・教職員レク企画(7月19日)
  - ・先進地視察研修の実施(一貫教育等)
  - ・学校評価の共有化と9年間の学校教育を総括できるものを作成
  - ・「陸別教育の日」を月1回制定し、活動日を確保
  - ・「陸別ふるさと科」の実施

- 【教務部会】** 部長：高橋 純(小) 副部長：渡邊 耕平(中)
- 事業内容
- ・ふるさと科の実施と教育課程の編成(町教委と連携)
  - ・9年間を見通した一貫した指導内容の研究、TT活用  
※今年度 算数、体育、外国語(英語)、音楽
  - ・「陸別学習プラン」の実施と改善点について検討
  - ・町文化祭作品出展および舞台演出等参加(芸能発表会：11月3日)
  - ・「陸別の子」第52号発行(3月)

- 【指導部会】** 部長：田町 成淳(中) 副部長：板花 大輔(小)
- 事業内容
- ・「陸別生活プラン」の周知・掲示
  - ・指導記録の共有化と引継ぎ
  - ・生徒指導交流(紙面での情報交換)
  - ・挨拶運動等の交流(児童会・生徒会交流等)
  - ・交通安全街頭指導(年2回)
  - ・校外巡視(各月毎実施検討)

- 【研修部会】** 部長：佐藤 春奈(中) 副部長：鈴木 啓太(小)
- 事業内容
- ・合同研修会の実施(7月ほか3回を予定)
  - ・町教育研究大会の実施(主管：中学校 11月15日)
  - ・教育研究収録の発行
  - ・道内研修の推進

- 【特支部会】** 部長：岩井 玲佳(小) 副部長：北川 智之(中)
- 事業内容
- ・子ども発達支援連絡会への参加
  - ・特別支援教育合同研修会の実施(十勝教育局「出前講座」を活用)
  - ・進路指導の充実
  - ・個別の教育支援計画の共有、入学時の引継ぎ
  - ・児童生徒、保護者会による交流、情報交換会の実施

今年度から陸別小学校・陸別中学校は、分離型小中一貫校としてスタートしました。9年間を見通した一貫した教育活動を展開するために、小学校・中学校の教職員が各部会に分かれて、事業を推進していきます。「町ぐるみで育む きらりと光る りくべつ子ども」を合言葉に取り組んでまいります。



裏に続く

# 十勝教育局「出前講座」 カリキュラム研修会



カリキュラム作成全道研修会に  
に参加した2名の先生の発表



「めざす中学3年生」  
「一貫教育目標」など、  
陸別の取組も参考に  
説明いただきました。



6月13日(木)、陸別中学校視聴覚室を会場に、今年度第1回目となる小中一貫教育研修会を開催しました。今回は、十勝教育局 天野主任指導主事を講師に義務教育9年間を見通した教育課程の編成に向けて、他町の実践例も交えて説明いただきました。

また、研修会の冒頭では、5月24日(金)に札幌市で行われた「カリキュラム作成全道研修会」に参加した小学校からは小中一貫コーディネーターの西藤孝幸教諭と中学校からは教務部会の内山建教諭による報告が行われました。限られた時間の中ではありましたが、道内外のモデル指定地域の実践内容や陸別の実態に合った事例を聞き大変参考になったとのこと、大変ありがとうございました。

天野主任指導主事からは、ご自身の過去の経験から苦労したことやその経験から得られたこと、小中一貫教育が求められる背景と理由、小中学校段階における主な差(違い)など、実際に教育課程を編成する上での視点をお話いただきました。

講座の中では、小中の教職員が「陸別の子どもにつけさせたい力は何か」を交流し合う場面もあり、改めて陸別の子供たちについて振り返る機会となりました。

次回研修会は、7月8日(月)に特別支援教育に関する研修を予定しています。

## 昨年度の小中一貫教育研修会のおさらい

### 陸別の子どもの現状は...

- ・ルールを守ったり、言われたことはきちんとできる
- ・自ら考える力が不足
- ・スマホ・タブレット・ゲーム機などの使い方
- ・粗暴な言動・行動がある
- ・主体性をもった活動が苦手

- ・学年段階の区切りの柔軟な設定とそれらを踏まえた指導計画
- ・9年間の系統性・連続性を強化した教育課程、指導計画
- ・学校独自の新教科や領域の指導
- ・多様な異学年交流
- ・児童生徒の異学年集団におけるリーダー体験
- ・一貫教育の円滑な実施に必要な組織運営体制の整備
- ・学年段階の区切りの変更による教育効果
- ・系統性・連続性の強化による学力・学習状況調査の結果の改善
- ・独自の新教科等のねらいの達成
- ・児童生徒のコミュニケーション能力

### 改善のための具体的な取組(知・徳・体)

- ・自ら進んで学ばせる興味・関心を高める授業づくり
- ・主体的で対話的な深い学びを導く授業スタイル
- ・授業研の相互参加
- ・小中教職員による合同研修
- ・将来への夢をもたせる取組
- ・共通の学習規律

- ・家庭との協力
- ・ゲーム等のルールづくり
- ・家庭学習時間の確保

**知**

- ・親しき仲にも礼儀あり
- ・高齢者との触れ合い体験
- ・幼い時から家庭で思いやりの心を育む環境づくり
- ・生活のルールの共有

**徳**

- ・強健な心身でやり抜く気持ち、態度を育てる
- ・基礎体力の向上
- ・小中の体力テスト情報の共有と実施協力

**体**

